



# かみとんだ

第 132 号  
2010.1.2

## 議会だより

平成21年度の決算は

一般会計と特別会計あわせて、歳出総額 107億3,778万4千円  
決算審査特別委員会を設置し審査を行うことになりました。

「議会だより」は、上富田町のホームページに掲載しています。



11月7日（日）に上富田地区の第33回農業祭が開催されました。

（会場：上富田町役場駐車場 写真はオープニングのテープカット）

### 9月議会で4議員が一般質問を行いました。

沖田公子議員：☆ヒブワクチン接種の費用に助成を ☆児童虐待防止への取り組みについて  
木村政子議員：☆電気式生ゴミ処理機購入補助金について ☆南紀の台の町道全面改修について

☆ヒブワクチン予防接種に公費補助を

吉田盛彦議員：☆町職員の採用について ☆町内の鳥獣被害について ☆交通安全対策について

井潤 治議員：☆保育所の役割と今後の子育て支援の新たな展開に対する対応について

☆子育て世代が安心して加入し、払える税負担とする国保税について

☆第4次上富田町総合計画基本構想について

発行／和歌山県上富田町議会 編集／議会広報特別委員会

〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763  
TEL(0739)47-0550 FAX(0739)47-5959

# 会期（平成22年9月9日～17日）

## 9日間

9月定例会に町長から、決算認定、財政の健全化に関する報告、条例の改正、補正予算、工事請負契約、人事関係等 計32件の案件が提出され、決算認定については、特別委員会を設置し審査を付託、条例改正、補正予算については、原案のとおり可決しました。

また、6月定例会で特別委員会を設置し審査してきた第4次上富田町総合計画基本構想の策定についての件は、定例会初日に委員長より審査報告が行われ、原案どおり可決されました。

# 9月 議会

## 補正予算関係(一般会計)

### <平成22年度 一般会計補正予算（第3号）>

今回1億9,432万9千円を追加し、予算総額を59億9,779万8千円としました。

#### (補正した主な事業内容)

##### ◎総務費

- ・土壤改良剤製造共同作業場改修工事請負費……………700万円
- ・土壤改良剤製造共同作業場改修諸材料費……………500万円

今回改修工事を行う  
土壤改良剤製造共同作業場  
(岩崎地区)



##### ◎民生費

- ・大谷総合センター改修工事請負費……………300万円  
(大谷総合センターは昭和55年度の建築で概ね28年が経過しており、今回施設内等の老朽化した部分について一部改修を行う。)

一部改修を行う  
大谷総合センター  
(朝来地区)



- ・児童福祉費、保育所運営費（統合保育所用地調査委託料）……………100万円  
(生馬保育所、岩田保育所、市ノ瀬保育所の統合による建設予定地の調査を委託する。)

## ◎衛生費

- ・予防費（新型インフルエンザ委託料）……………125万3千円  
(新型インフルエンザの予防対策で、予防接種を医療機関へ委託し、住民の方が接種した費用について補助するものです。但し住民税非課税等の所得制限があります。詳しくは住民生活課へお問い合わせください。)
- ・予防費（新型インフルエンザ補助金）……………70万円  
(同じく新型インフルエンザの予防対策で、予防接種した費用を本人が立替えして支払いした場合、後で申請をしていただき、その費用について補助するものです。これについても、所得制限があります。)
- ・清掃総務費（修繕料）……………256万2千円  
(岩田方鹿地区にある一般廃棄物最終処分場の集水ピットのポンプ及びC O D「科学的酸素要求量」器具の修理費等)

## ◎土木費

- ・道路橋梁維持費（維持補修工事請負費）……………1, 680万円  
(町道の維持修繕費等)
- ・高速道路推進費（公有財産購入費）……………8, 473万7千円  
(高速道路に伴い、岩崎地区に建設予定の仮称「くちくまの交流館」に係る用地購入費等)

## ◎教育費

- ・体育施設管理費（人工芝購入費）……………7, 980万円  
(上富田スポーツセンターの多目的グラウンドのAコートを人工芝生にする費用)

## ◎災害復旧費

- ・単独災害復旧事業費  
(救馬谷地すべり対策調査設計業務委託料)  
……………600万円  
(7月の豪雨により発生した救馬谷地区の地すべり対策に伴う測量等の委託料)
- ・単独災害復旧事業費  
(救馬谷等地すべり対策工事請負費)  
……………2, 300万円  
(救馬谷地区の地すべり対策工事費で、押さえ盛土、集水ボーリング、廃土等の工事を行う。)



現在、防水シートにより保護している  
救馬谷地区の地すべり地

## 条例関係

### ◎上富田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

(この条例改正については、非自発的失業者(リストラ等による失業)に係る国民健康保険税の月割りの規定を定めて、保険税の減額措置を講じるもの。)

## 工事請負契約等（指名競争入札）

◎工事名…平成22年度 第1-1号 公共下水道事業 朝来下水道管（20工区）布設工事(補助)

契約額……………54, 001, 500円

契約相手……………和歌山市小松原通三丁目69番地

株式会社 淩川組 取締役社長 池内茂雄

◎工事名…平成22年度 第1号 体育施設管理事業 スポーツセンタークラブハウス建築工事

契約額……………46,740,750円

契約相手…………和歌山県西牟婁郡上富田町生馬567-1

株式会社 後工務店 代表取締役 後 雅雄

◎物品購入…平成22年度 第8号

体育施設管理事業 上富田スポーツセンター多目的グラウンドAコート人工芝生購入

契約額……………67,515,000円

契約相手…………東京都港区高輪2丁目15番15号

ヨコハマ弹性舗装システム株式会社 代表取締役 矢野幹夫

クラブハウスの建築とAコート側に人工芝生を張る工事が始まった上富田スポーツセンター多目的グラウンド

(11月24日現在)



## 人事案件

◎人権擁護委員については、任期満了により、町長より推薦についての意見を求められ、全会一致で次の4名の方を適任としました。

上富田町朝来 横木正行 上富田町生馬 出水精一  
上富田町岩田 野田浩 上富田町市ノ瀬 山本徹

## 第4次上富田町総合計画基本構想

町が「まちづくり」を進めるために策定する総合計画基本構想については、国が定める地方自治法の規定により議会の議決が必要となります。

これにより6月定例会で第4次上富田町総合計画基本構想（案）が町長より提出され、議会では、6人の委員で構成する特別委員会を設置し5日間にわたって審査を行い、委員会としては原案のとおり決定することになりました。

その結果、9月定例会の初日に池口公二委員長より審査報告書が提出され、改めて本議会において審議を行い、議案32号第4次上富田町総合計画基本構想の策定についての件は、委員長報告のとおり賛成多数で原案のとおり可決しました。

これにより、今後、町では基本計画、実施計画を策定して、

### 『明るく豊かなまちづくり』

～明るく生活ができる心の豊かさが実感できるまちづくり～に取り組むことになります。

## 決算監査報告

監査委員  
吉田盛彦

56億5,897万4千円。歳出で平成21年度の一般会計決算額は、歳入57億5,11万8千円。歳出で56億5,897万4千円。

9月議会で、平成21年度の各会計の決算認定が提出され、吉田監査委員から決算監査報告がされました。その中から抜粋して掲載しています。

8月2日から9月2日まで各会計にわたり、井上秀男代表監査委員とともに、16会計の決算審査を行いました。

各会計の予算額及び収入支出済額は、予算台帳、並びに出納日計算簿等により出納証書類を余すところなく照査の上、さらにその内容につき、審査したところ各会計にわたり係数は正確であり、内容的にも正当なものと確認しました。

9月議会で、平成21年度の各会計の決算認定が提出され、吉田監査委員から決算監査報告がされました。その中から抜粋して掲載しています。

8月2日から9月2日まで各会計にわたり、井上秀男代表監査委員とともに、16会計の決算審査を行いました。

各会計の予算額及び収入支出済額は、予算台帳、並びに出納日計算簿等により出納証書類を余すところなく照査の上、さらにその内容につき、審査したところ各会計にわたり係数は正確であり、内容的にも正当なものと確認しました。

歳入歳出差引き9,814万4千円になります。その内、翌年度への繰越財源1,431万6千円を差引きすると、実質収支額は、8,382万8千円の黒字となつております。厳しい財政事情が続く中、行政改革の効果が現れたものと考えます。

歳出面では、人件費の決算額が8億9,146万円で、前年度に比べ1.3%減少しております。（退職者8名・採用者4名）物件費では、前年度に比べ9.1%増加しております。一方歳入面において、これは平成21年度より国への雇用対策に基づく緊急雇用創出事業によるものです。

扶助費については、前年度に比べて10.2%増加しており、これは障害自立支援給付費の改正による障害福祉サービスの増によるものであります。

補助費等については、前年度に比べて3.1%増加しており、これは前年度繰越事業である定額給付金事業によるものです。

決算額の構成比は、消費的経費58.2%、投資的経費14.5%、公債費等27.3%などと

歳出全体では、現在取り組んでいる行政改革にもかかわらず、本年度の経常収支比率は9.1%で、前年度と比較して、改善は見られるが、依然として、財政構造の硬直化の状態にあります。また、実質公債費比率については20.6%と年々増加しており、今後は、今以上に事業等の精査を行い、経費節減を図り、健全財政の維持運営に努め、財政構造の彈力性を保持するよう、一層の努力をされる旨、指摘しています。

一方歳入面においては、自主財源34.6%は、依存財源65.4%の構成であり、自主財源の確保はもとより、国県支出金等の依存財源の確保にも、一層の努力をされるよう指摘しています。

町税の徴収率は91.8%、収入未済額は1億3,078万6千円であり、未収金の徴収率は91.767万2千円であり、一般会計全体を通じての未収金の合計額は、1億3,078万6千円です。

とともに、未納者の預金調査・差し押え、並びに和歌山県地方税回収機構等を積極的に活用し、滞納整理に格段の努力をされるとあります。また、公営住宅料や保育料など各種料金を含めた未収金の徴収についても、万全を期されるよう要望しています。

一般会計の本年度末の町債の現在高は60億8,742万9千円で、前年度に比べ2.3%減少しています。

本年度の町債の借入額は5億4,800万円で、臨時財政対策債、公営住宅建設事業債、市ノ瀬橋改良事業債、生馬小学校耐震化改修事業債が主なものです。

現在の町財政は、多額の起債償還に追われ、財政運営は極めて厳しい状況下にあります。今後も、行政需要は、さらに、多岐多様になるものと思われますが、より一層効率的な行政運営に努められ、上富田町の発展と町民の福祉向上に寄与されるよう要望しています。

平成21年度 一般会計・特別会計決算額						(単位:円)
会計名	歳入総額	歳出総額	差引	翌年度繰越額	実質収支	
一般会計	5,757,117,818	5,658,974,074	98,143,744	14,316,0000	83,827,744	
国民健康保険事業	1,706,152,326	1,731,341,165	-25,188,839	0	-25,188,839	
老人保健	6,957,864	6,953,625	4,239	0	4,239	
町営砂利採取碎石事業	64,883,034	64,773,961	109,073	0	109,073	
宅地造成事業	102,278,678	581,436,174	-479,157,496	0	-479,157,496	
共同汚水処理施設事業	65,012,572	63,969,997	1,042,575	0	1,042,575	
宅地取得資金貸付事業	4,837,270	10,186,062	-5,348,792	0	-5,348,792	
住宅新築資金貸付事業	26,734,524	70,575,087	-43,840,563	0	-43,840,563	
奨学事業	6,132,495	6,131,419	1,076	0	1,076	
農業集落排水事業	187,661,082	187,661,082	0	0	0	
公共下水道事業	475,481,978	462,740,615	12,741,363	12,368,000	373,363	
介護保険	1,038,405,334	1,037,802,505	602,829	0	602,829	
後期高齢者医療	197,650,406	197,071,281	579,125	0	579,125	
朝来財産区	49,836,608	49,768,677	67,931	0	67,931	
西牟婁郡公平委員会	1,411,866	1,312,905	98,961	0	98,961	
水道事業	472,347,966	392,711,532	79,636,434	0	79,636,434	
収益的事業	61,702,652	214,374,155	-152,671,503	0	-152,671,503	
合計	10,224,604,473	10,737,784,316	-513,179,843	26,684,000	-539,863,843	

# ここが聞きたい!

平成22年9月定例会の一般質問は、日程2日目の9月14日に行われ、4議員が登壇し、当局の考え方を質しました。その質問、答弁の趣旨をまとめて掲載しています。

## 沖田公子議員

1. ヒブワクチン接種の費用に助成を
2. 児童虐待防止への取り組みについて



沖田議員

### ①ヒブワクチンの接種の費用に助成を

質問 ヘモフィルスインフルエンザ菌b型(Hi b)の感染による細菌性髄膜炎などの予防ワクチン||ヒブワクチンは、既に世界の100カ国以上で使用され90カ国以上で定期予防接種されて効果を上げています。日本でも2008年12月から任意接種が受けられるようになりました。

ヒブによる細菌性髄膜炎は乳幼児だと死に至ることもあり、知能障害などの発育障害や言語障害などの後遺症が残ることが多い怖い感染症です。

最近、治療に必要な抗生素も増加しており発症後の治療は困難です。又風邪などと症状が似ているため医師でも診断がつきにくいことから、ワクチンが最も有効とされています。

しかし、費用が高価で

あり、接種が経済的に困難であります。ヒブワクチンの接種の費用に公費での助成を実施していただきたいたい。

住民生活課長 財政上の問題もあり、優先順位をつけながら実施の方向を考えていきたいと思ってます。

### ②児童虐待防止への取り組みについて

質問 児童虐待に関する相談は全国的に増加傾向にあり、上富田町でも育儿に対する支援を求める声が多くあります。そこで2つの提案を致します。

1つ目は、子育ての悩みを抱えている保護者のために、アメリカで開発された保護者向けの訓練プログラムを活用したモンセンス・ペアレンティング(CSP)講座を開催してはどうか。

CSPは暴言を使わない子育ての技術を親が習得し、虐待の予防、解消を目指すもので、誰でも簡単に実践でき、短期間で効果が上がるのが特徴です。

親子間のコミュニケーションの壁を改善することで子どもの問題行動が減り、子育てを楽に楽しむことができるという効果があります。

2つ目は、父母の保育士一日体験です。体験に参加した父母からは、子どもたちの多様性や成長の過程がはつきりわかった。家族でいる時と集団でいる時の我が子の違いに驚いたなどの感想や声が寄せられています。

保育園の保護者の育児に対する視野を広げ、保育園と保護者の信頼関係を築く一日保育士体験事業に取り組むことを提案します。



岩田保育所で（祖父母とのつどい）

住民生活課長 上富田町は上富田町児童虐待防止ネットワーク協議会を設置して取り組んでいます。児童福祉法に基づきます通報の48時間以内の児

望される方につきましては、体験していただくと生活グループの方で確実に行われています。その後、学校、教育委員会をはじめ、各関係機関と連携をとりながら家庭の調査、指導を行って、児童の生命にかかるとどういう判断をした場合には、一時保護の措置もとっています。

# 木村政子議員

1. 電気式生ごみ処理機購入補助金について
2. 南紀の台の町道の全面改修について
3. ヒブワクチンの接種に公費補助を



木村議員



家庭で購入している電気式生ごみ処理機

## ①電気式生ごみ処理機購入補助金について

質問 「生ごみは宝だ」というスローガンで、毎年、全国の生ごみのリサイクル交流会が開かれており、生ごみを堆肥にして作った野菜を地域で消費する循環を実現している所が増えている。

上富田町でも、平成14年度から補助制度があるが、当初1件3万円位だった補助金が、平成17年

度からは2万円に切り下げられている。生ごみの焼却量が減ると、焼却炉が延命し、残灰の量も少なくなる。ごみの減量と資源の循環という観点から、処理機の普及をもつと進めるべきだと思う。

14年度に一挙に218台の設置がされている。

8月20日付、紀伊民報に掲載された処理機は、コンパクトなので、ちょっとした所に置ける。

補助金を是非2分の1に引き上げて、思いきつたキャンペーんで設置数を飛躍的に伸ばす取り組みをしてはどうか。

町長 生ごみを資源化することは有意義であり、堆肥化は必要だと思う。

## ②南紀の台の町道の全面改修について

堆肥化するには、ごみの質が問題で、高度化処理するプラントがあるが、財源的に難しい。役場に、1日当たり25キロ程度処理できる機械（200万円位）を置く方法も考えられるが、そこまで持つてくる手間がかかる。発芽して、補助金については考えてもいいと思う。



南紀の台地区の町道（南紀ノ台1号線）

## ③ヒブワクチン予防接種に公費補助を

のないよう、前向きの働きかけを要望する。

町長 地方自治体の財源

らないと問題が出てくる。国の雨水改修の採択基準が非常に厳しいので、最終的には町が単独でやるしか方法がない。

下水も水道管も一緒にやる必要があるが、現時点では財政としてはしないといつかの時点ではその仕事をしなければならないと認識している。

質問 公費で接種されないワクチンは非常に種類が多く、全部自己負担で受けると18歳までに25万円位かかる。

国・県・町が力を合わせて、子どもたちが貧富の差で命を脅かされることがある。

国は、子ども手当の現物給付を考えもらいたい。

とのないよう、前向きの働きかけを要望する。

町長 地方自治体の財源の豊かさや、個人の貧富の差によって、ワクチン接種が出来る、出来ないというのは寂しい限り

の差で命を脅かされることがある。

町長 地方自治体の財源

# 吉田盛彦議員

1. 町職員の採用について
2. 町内の鳥獣被害について
3. 交通安全対策について



吉田議員

合わせて次の質問をする。

- ①職員採用のシステムは。
- ②女性が多くなったように思うが、仕事に影響はないか。また、男性女性の割合は。
- ③職員の地区別町内職員の割合は、
- ④臨時職員は何名か。
- ⑤臨時から正職になられた人は現在2名、来春1名と聞いている。臨時職員の中には私も頑張ったらいつか正職にと思う人、受験しようと努力している人も居るかもしねれないが、この皆さんの理解を得る事ができるのか。この方法は今後も続くのか。

6名で面接採点平均点を第一次試験の点数をプラスする総合評価で決定する。

- ②職員120名中男性75名、女性45名、町内88名、町外32名となっている。
- 女性職員には重労働をさせる事なしに、他の職員にさせている。
- ③職員地区別では、下鮎川1名、市ノ瀬11名、岡8名、岩田13名、生馬16名、朝来34名、岩崎3名、南紀の台2名。
- ④臨時職員97名、緊急雇用10名、計107名。
- ⑤規則の中で町長は特別な事情のある場合は町長において適当に処理する

とあるが人事は非常に難しい。皆さん方にも相談しこの子であつたら間違いないと言う事で独断でしたものでない。ご理解をいただきたい。

ノシシ、シカによる被害はどうなものか。

シカ、イノシシは増えているのか、減っているのか。

イノシシ、シカの駆除に補助金を出す考えはいか。

産業建設課企画員 21年

被害額は195万5,200円。捕獲頭数は平成16年はイノシシ11頭、シカ19頭であつたが21年はイノシシ58頭、シカ60頭と右肩上がりで増加している。シカ、イノシシへの補助金は猟友会へ出す

という事で研究します。

## ①町職員の採用について

**質問** 町内出身者の町職員が年々減少の傾向にあります。

**町長** 職員の男女別はない。私が町長に就任した時は、町内在住者に限るとなつてはいたが勧告を受けた。町内出身者を雇いたいが非常に難しい。

非常時は召集で訓練し

いる。非常参考は30分後出向いた職員は63%、1時間後は95%となつている。連絡については情報伝達網により伝えている。

①職員採用システムは日本人事試験センターにより一次試験採用となる。

町内の職員は必ず町内会に入つていて、地域住民が役所に聞きたい事や指導して住民サービスにつながっている。

職員採用のシステムから仕方がない面もあるが心配する。また、非常時

の際にはどうなるか、を

## ②鳥獣被害について

**質問**

専業農家の方はもちろん老齢化した人たちが楽しみで野菜を作つたり果物を作り直販所へ、また、市場へ持つて行き小遣い稼ぐのを楽しみ

総務政策課企画員 1日

約400人から450人の方が郵便局に出入しています。

町長 できたら役場周辺

**③交通安全対策について**

**質問** 上富田郵便局前の渋滞と危険を心配するが、郵便局に1日どの位の人が出入りするのか。

役場周辺に移転をお願いできないのか。

に移転してほしいと再三お願いをしているが、議員が質問されたことも踏まえ、繰り返し郵便局長に伝えます。



上富田郵便局付近



# 井潤治議員



井潤議員

**①保育所の役割と今後の子育て支援の新たな展開に対する対応について**

質問 現在の保育所の役割をどう評価しているか。

答 新しい保育所作りで、市ノ瀬、岩田、生馬の3園を廃止・統合する話になつてはいるが、今までの保育所の評価が新しい保育所づくりに生かされるのか。

・保育所は、保育に欠けるという児童福祉法に基づくが今までの保育所の存在の理由が生かされるか。

・民主党の幼稚園と保育所を一体化する幼保一体化路線を新しく選択の迫られる問題が含まれないか。

・6月に政府が「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」を公表した。どういう感想を持つか。

町長 5保育所の運営に、以前に比較して一億円以上を持ち出しで、財源的には国は負担していない状況です。

- ・新システムで各種子ども・子育て対策の財源を統合、市町村が自由度を持つ必要な給付を子ども・子育て包括交付金として交付するとなっています。子育てに对しどの程度交付金が交付されるかわからない状況、こういう中で保育所の運営をしなければならないのです。

質問 入所要望者に対しても児童のないよう実施し、住民の皆さんに納得いく運営をしています。その伝統はあると思います。

・3保育所の建物が老朽化又耐震化されていないことから統合します。

・現在、保育所の運営に財政問題を含めて官庁側で建て民営で運営する方式、保育所と幼稚園を兼ねた格好で、認定子ども園方式が検討され実施している市町村を視察して検討していますが流れは認定子ども園方式に移行する方向。財源的にとやかく言わなかつたら、私は保育所として運営した。どういう感想を持つか。

町長 5保育所の運営に、以前に比較して一億円以上を持ち出しで、財源的には国は負担していない状況です。今後の保育行政について、今の保育所でしたいと思つていますが、財源的な問題があります。

・父兄から反対の声が出て来るようになります。といいますのは、保育所は所得で保育料が異なり幼稚園では金額が一定になります。この事があります。

質問 ②子育て世代が安心して加入し、払える税負担とする国保税について

町長 平成21年度の国民健康保険事業で保険給付金（医療費）だけで10億円（医療費）だけで10億円、その差だけでも5億円あります。この差で赤字が出たわけですが、成り立つ方法は今後、医療費の抑制と保険税の収入を上げることになります。国保事業加入者は他保険加入者の1／3、特段国保に一般会計からの繰り出しは難しい状況です。これらにつきましては町としては検討はしますけれど今の段階では税そのものを22年度も23年度も上

お年寄りまで一人当たり均等割の減免制をつくられないか。特に18歳未満の被保険者に対して子育て支援分の均等割を高齢者支援分の均等割を減免されたい。そして1割減、2割減とか3割減した時にどれほどの減額になるか聞きたい。

町長 平成21年度の国民健康保険事業で保険給付金（医療費）だけで10億円（医療費）だけで10億円、その差だけでも5億円あります。この差で赤字が出たわけですが、成り立つ方法は今後、医療費の抑制と保険税の収入を上げることになります。国保事業加入者は他保険加入者の1／3、特段国保に一般会計からの繰り出しは難しい状況です。これらにつきましては町としては検討はしますけれど今の段階では税そのものを22年度も23年度も上

げない状況であることの理解をお願いします。

町長 定時に18歳未満の方が8人加入しています。18歳未満の方を加入率で均等割を仮設しますと、医療給付金の均等割認定額は1,686万2,000円程度、後期高齢者支援分は441万4,000円程度となります。合計額は2,127万6,000円位です。合計額より計算しますと1割分の減免金額は212万7,000円、2割では42万5,000円、3割は638万2,000円となります。

質問 ③第4次上富田町総合計画基本構想について

町長 新しい公共で問題点があると言ふことがあります。自治体が公共ではなく市場至上主義のものとなる。このことから住民を守ることが行政の課題と思うがどうか。

町長 新しい公共で問題点もあるとご理解をいただきたい。問題点は問題点があると言ふことがあります。この構想点で指摘されまつたら、それはそれなりに検討するということでお願いしたい。

町長 新しい公共で問題点があると言ふことがあります。自治体が公共ではなく市場至上主義のものとなる。このことから住民を守ることが行政の課題と思うがどうか。

# 田辺市及び周辺町議会議員研修会が開催されました。

日 時 平成22年10月5日 場 所 田 辺 市  
主 催 田辺市及び周辺町議会正副議長会



今年の研修は、「議会運営について」をテーマに地方議会研究会代表で、元全国都道府県議会議長会議事調査部長 野村 稔 氏を迎えての講演があり、身近な話に参加者全員熱心に聴講しました。

平成22年度の田辺市及び周辺町議会の全議員を対象にした研修会が開催されました。

構成	田 辺 市	議員定数	2 6 名
	みなべ町	"	1 4 名
	白 浜 町	"	1 6 名
	すさみ町	"	1 0 名
	上富田町	"	1 2 名

この研修会は、田辺周辺広域圏のふるさとづくりの進展に役立てるとともに、議員相互の理解と連帯感を深めることを目的として、構成する各市町が毎年持ち回りにより開催しており、今回は田辺市で行われ、当議会からも各議員と小出町長が参加しました。

## 平成21年度一般会計・特別会計 決算審査特別委員会を設置

平成21年度の決算認定について、9月定例会の冒頭に16会計が上程されました。

浦会計管理者より概要説明があり、吉田盛彦監査委員から監査報告を受け、委員6名で構成する決算審査特別委員会を設置し、次の12月定例会までに16会計の審査を行うことになりました。

委員長 沖 田 公 子  
副委員長 榎 本 敏  
委 員 山 本 明 生  
" 大 石 哲 雄 次 治  
" 木 本 真 次 治  
" 井 潤 治



### 編集後記

議会だよりをお届けします。  
今日は9月定例会で審議した一般会計補正予算等の主な内容と、4議員の一般質問の内容を掲載しています。お読みください。  
決事項、議員の一般質問等、写真を入れながら、できるだけわかりやすく、読みやすいように努力しています。  
紙面等へのご意見、ご感想があれば、どしどしお寄せください。  
これから冬に向かって寒が厳しくなってきます。皆様お身體には十分ご自愛ください。



今年も10月17日に市ノ瀬コスモス園の花祭りが行われました。当日は獅子舞、もちまきもあり、大勢の人で賑わいました。(市ノ瀬小山河川敷で)